

2022 SYLLABUS
通信教育部
北海道情報大学

【 教養科目：目次 】

心理学	6
哲学.....	8
物理学の基礎	10
基礎生命科学	12
サステイナビリティ学.....	14
モチベーションの科学.....	17
メディア・リテラシー入門	19
ヘルスリテラシー入門	21
健康科学.....	23
健康とスポーツ	25
海外事情（アメリカ編）	27
海外事情（中国編）	29
海外語学・文化研修（中国大連編）	31
英語Ⅰ（初級英語読解）	32
英語Ⅱ（初級英会話）	34
英語Ⅲ（中級英語読解）	36
英語Ⅳ（中級英会話）	38
英語Ⅴ（実用英語）	40
初級中国語.....	42



担当教員： 稲田 尚史

専 門

心理学（臨床心理学・認知心理学）

出身校等

北海道大学 大学院 文学研究科 文学修士 博士（医学）

現 職

九州産業大学 人間科学部臨床心理学科 教授

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業
授業範囲	
第 1 講 心理学とはなにか（p. 1）～第 16 講 適応の障害と心理療法（p. 204）	
試験期間	
シラバス検索画面トップページ（ https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/ ）下部の「2022 科目試験時間割」を参照	
試験範囲	
授業範囲すべて （持ち込み許可物）一切自由 （試験に関する注意事項）科目試験は、インターネット試験で実施します。 印刷授業においては、学習用プリントを参考にしながらテキストをよく読み、要点をノートにまとめよく理解しておくこと。	
科目の概要	
心理学は人の心の働きや行動を通して研究する学問である。一般的な心理学のイメージは、心理検査や心理療法など、個人の心の状態を調べたり、適応を改善したりする臨床的なイメージが強いかもしれない。しかし、心理学は人の行動に関わる様々な機能を研究対象としており、基礎的なメカニズムからその応用に至るまでその範囲は非常に広い。学習範囲が大変広いので、学習用プリントを基本として教科書や参考図書を用い、それぞれの項目について自己の体験と関連づけながら理解するよう心がけて欲しい。	
科目における学修の到達目標	
ここでは、一般教養としての心理学の学習を目指しており、できるだけ広く偏りのない心理学の基礎的知識とその基本的考え方を学んで欲しいと考えている。心理学を学ぶことで、身の回りの様々な疑問が解決するという単純なものではないが、人間とはどのようなものかを知り、自分を知り、他人を知るという過程を経て、自己の成長に繋げて貰えるならば望外の喜びである。単に事柄を記憶するのではなく、自分の身の回りの出来事や経験と結びつけながら、体験をもとにした学習を進めてくれることを願っている。	
講義の方針・計画	
第 1 回：心理学とはなにか・行動の発生 第 2 回：要 求 第 3 回：要求と行動 第 4 回：知 能 第 5 回：性 格 第 6 回：性格の形成 第 7 回：感 情 第 8 回：学 習 第 9 回：記 憶 第 10 回：認知と思考 第 11 回：感 覚 第 12 回：視聴覚 第 13 回：個体の発達 第 14 回：社会心理 第 15 回：適応の障害と心理療法	
準備学習（予習・復習）	
印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を 2 単位で 90 時間かけて学習することを目安としています。 わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。	
成績評価の方法およびその基準	
次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 試験：100%	
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法	
印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。	

教科書
書 名：心理学（新版） 著者名：大山 正、詫摩武俊、中島 力 発行所：有斐閣 ISBN：9784641111028
参考書・参考 Web サイト
なし
関連授業科目
なし
その他
なし
担当教員の実務経験
大学院附属臨床心理センターにおける相談・指導 北海道・札幌市・福岡県 スクールカウンセラー 精神科病院での検査・相談 豊富な臨床経験に基づき、心理臨床場面や日常生活での様々な場面の具体例について、心理学の観点から考察を行うことができるような教育を実施する。



担当教員： 三浦 洋

専 門

哲学、倫理学、芸術学

出身校等

北海道大学大学院文学研究科

現 職

北海道情報大学 情報メディア学部 教授

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業・前期面接授業・後期面接授業
授業範囲	教科書の内容全て
試験期間	シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2022 科目試験時間割」を参照
試験範囲	教科書の内容全て (持ち込み許可物) 一切自由。 (試験に関する注意事項) 印刷授業の科目試験は、インターネット試験で実施します。その際、教科書は必ず持参すること。
科目の概要	哲学は元来、すべての学問を包摂する知的探究の営みです。人間、自然、社会など、およそ世界の存在に関わる事柄はすべて哲学の対象でした。今の社会では、人々の考え方を単純に「哲学」と呼ぶ場合もありますが、学問としての哲学には厳密さが求められ、哲学独特の問題の立て方や探究方法が古来思索されてきたのです。この授業では、古代ギリシャから現代まで歴史を追って著名な哲学者や主要な哲学の潮流を学び、そのことを通じて哲学という学問のあり方そのものを学びます。
科目における学修の到達目標	哲学には人間の論理的思考の原型が秘められていますから、自分の力で物事を粘り強く考える姿勢を養うことができます。また、哲学の探究は生き方の思索に結びつきますから、歴史上の哲学者たちが考えてきたテーマを学ぶことは、自分の人生を深く考えるときのよりどころにもなるはずです。これら二点を踏まえ、哲学を単なる知識の寄せ集めとしてではなく、生きた教養として身につけることが目標です。
講義の方針・計画	第1回：哲学のはじまりと「自然の元」の探究 第2回：ソクラテスと「魂の配慮」 第3回：プラトンとイデア 第4回：アリストテレスの人間観 第5回：エピクロスとストア派 第6回：中世のキリスト教哲学 第7回：デカルトと「われ思う」、スピノザとライプニッツ 第8回：ロックとイギリス経験論 第9回：パークリとヒューム 第10回：カントの理論哲学と実践哲学 第11回：ヘーゲルと弁証法 第12回：功利主義と幸福 第13回：マルクスの唯物論 第14回：実存主義と本来の自己 第15回：現代哲学
準備学習(予習・復習)	印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を2単位で90時間かけて学習することを目安としています。 わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。2時間。 印刷授業以外の授業形態において、以下の準備学習を行う。 (予習) 聴講前に、教科書の該当箇所を目を通してください。 (復習) 聴講後に、教科書の該当箇所を読んで、確認してください。
成績評価の方法およびその基準	次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 試験：100%
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法	

レポートについては添削し、合格かどうかを判定した上で返却する。
教科書
書 名：テキスト 哲学 （初版） 著者名：宇都宮芳明 発行所：丸善プラネット ISBN：9784901689007
参考書・参考 Web サイト
なし。
関連授業科目
なし。
その他
なし。
担当教員の実務経験
実務経験なし



担当教員： 穴田 有一

専 門

ソフトマター物理学（高分子固体物理学）

出身校等

北海道大学工学部応用物理学卒業、北海道大学大学院工学研究科応用物理学専攻修士課程修了、北海道大学大学院工学研究科応用物理学専攻博士後期課程単位取得退学

現 職

北海道情報大学教授

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業・後期面接授業・前期インターネットメディア授業・後期インターネットメディア授業
授業範囲	教科書の第 6 章から第 9 章まで 1. 温度と物質 気体の圧力・温度が分子運動とどんな関係になっているかを理解する。 (熱運動、理想気体の状態方程式、熱運動のエネルギー) 2. 物質の法則 物質に熱を与えて仕事を取り出す熱機関の原理を学び、熱と環境の関係を考える。 (熱力学第 1 法則、熱力学第 2 法則、カルノーサイクル、エントロピー) 3. 光の性質 波としての光の性質を学ぶ。(フェルマーの原理、干渉、回折) 4. 熱から光へ 光の粒子性について学び、物質の構成要素である原子の構造を理解する。 (熱放射、プランク定数、光子、光電効果、ボーアの理論)
試験期間	シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2022 科目試験時間割」を参照
試験範囲	授業範囲に記載した範囲から出題します。「学習用プリント集」は必要に応じて参照して下さい。 (持ち込み許可物) 一切自由 (試験に関する注意事項) 印刷授業・インターネットメディア授業の科目試験は、インターネット試験で実施します。
科目の概要	幼い頃身近な自然現象に触れて、疑問をいだきまた好奇心をかきたてられたことはありませんか。そんな疑問に 100% 答えられる科学はありませんから、いつのまにか自然に対する好奇心を忘れてしまった人も多いと思います。それでも時には、ミクロの世界や宇宙の不思議に興味を引かれることがあるのではないのでしょうか。 物理学は自然の仕組みを解き明かす一つの切り口にすぎませんが、多くの科学技術の基礎であり、様々な学問や私たちの社会に非常に大きな影響を与えてきました。物理学の知識は現代人に必要な教養の一つであるだけでなく、どんな専攻分野の学生諸君にとっても、将来役に立つ学問であると思います。
科目における学修の到達目標	本科目では、物質と空間と時間が物理学ではどのように理解されているかを学んでもらいますが、その学習を通じて自然の仕組みを解き明かす物理学の手法と思想を理解することを目標とします。
講義の方針・計画	詳細な知識を増やすことよりも、物理法則にもとづいて自然現象を理解することが大事です。できるだけ身近な現象を思い浮かべて、どのようにしてその現象が生じるのかを物理的に考えてみてください。数学は必要です。高校までの数学で十分ですからよく復習してください。講義の内容をより深く理解したいならば、本学通信教育課程の「三角関数・指数関数・対数関数」も学習しておくといでしょう。 物質の物理のテーマは「物質」です。運動の法則から出発して物質の性質を考えます。分子の運動と巨視的な物質の性質がどのように関連するか理解してください。熱力学の基本法則と資源の有効利用や物質と光の関係についても考えます。 第 1 回：分子運動と力学的エネルギー 第 2 回：容器に閉じ込められた分子の運動 第 3 回：気体の状態 第 4 回：状態方程式 第 5 回：仕事と熱 第 6 回：熱機関 第 7 回：カルノーサイクル 第 8 回：熱効率とエントロピー 第 9 回：光の進み方 第 10 回：波の性質

第 11 回：波としての光 第 12 回：温度と光 第 13 回：光の粒子性 第 14 回：原子の仕組み 第 15 回：まとめ
準備学習(予習・復習)
印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を 2 単位で 90 時間かけて学習することを目安としています。 わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。 印刷授業以外の授業形態において、以下の準備学習を行う。 （予習）聴講前に、教科書の該当箇所を目を通してください。 （復習）聴講後に、教科書の該当箇所を読んで、確認してください。
成績評価の方法およびその基準
次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 試験：100% <w:br />ただし、対面のスクーリングでは、授業中の演習問題などを平常点として加味して評価します。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法
印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。 IM 授業は、練習問題を解答すると、解答に応じたコメントを画面に表示する。
教科書
書 名：運動と物質―物理学へのアプローチ（初版） 著者名：穴田有一 発行所：共立出版 ISBN：9784320033979
参考書・参考 Web サイト
参考書を一っだけ挙げておきます。必要ならば参考にしてください。 書 名：身近な教養物理（初版） 著者名：小暮陽三 発行所：森北出版
関連授業科目
なし
その他
なし
担当教員の実務経験
1981 年から 1982 年にかけて、石油化学企業に勤務し、4 ヶ月間の工場実習を経て研究所に配属され、プロジェクトチームのメンバーとして合成樹脂材料の研究開発に従事しました。2 つの開発テーマを与えられましたが、その内の一つ、自動車部品メーカーに販売することを目的としたゴム状の合成樹脂材料の開発では、ガラス面での低摩擦力を実現するために、物理学研究の基本的方法論にもとづく独自の分析方法を考案し、様々な摩擦係数をもつ材料を容易に成形するための材料組成をつきとめました。この研究については、プロジェクトリーダーの主任研究員および部門主管からも高評価を得て、プロジェクトの進行に寄与しました。 この実務経験から学んだことは、学問の基礎を修得することが実務上でも有益であること、そして、研究開発を進めるためには、プロジェクトチームの一員として協調しながらも、独自の考えを持つことが重要であり、口先だけで無く、その考えに基づく実績を作ること、チームと協調しながらプロジェクトの前進に寄与することができるということです。 本学の担当科目では、この経験に基づいて、基礎知識と学問の方法論を学習することの重要性を伝えるとともに、その基礎に裏付けられた自分の考えもち、他者とコミュニケーションを十分にとりながら協調することの重要性を伝えています。

基礎生命科学 「生命」という小宇宙のしくみを知る

ナンバリング 2 単位

DCS104



担当教員： 居弥口 大介

専 門 生物物理学、構造生物学
出身校等 北海道大学 理学博士
現 職 知的情報総合サービス

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業
授業範囲	
教科書の内容すべて	
試験期間	
シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2022 科目試験時間割」を参照	
試験範囲	
授業範囲すべて (持ち込み許可物) 一切自由 (試験に関する注意事項) 科目試験は、インターネット試験で実施します。	
科目の概要	
近年、ヒトの設計図とも呼ばれる全ゲノム情報が解明され、身体のなかで機能しているタンパク質に関する膨大な情報を、誰もがデータベースから取得することが可能な時代になった。そしてゲノム情報を基盤とした新たな創薬の世界が幕を開け、固体差を考慮するテーラーメイド医療も現実になろうとしている。さらに遺伝子操作をはじめとするバイオテクノロジーの発展はめまぐるしいものがあり、これらを使った遺伝子組み換え食品の開発、ES 細胞や iPS 細胞などによる再生医療など、最先端技術に関する情報が新聞やテレビなどで伝えられている。しかしながら、これら最先端技術を用いた生物学や医療などに関する情報は、生命科学に関する基礎的知識を身につけていなければ正確に理解することができない。	
科目における学修の到達目標	
本講義では、人体の構造や遺伝、免疫など、ヒトのからだに関する基礎的な知識について正しく理解することを目標とする。	
講義の方針・計画	
本講義では教科書として「わかる生物学」(化学同人)を使用します。学習用プリントを参考にしながら下記の内容について学習してください。 教科書の各章の終わりには章末問題があります。学習した知識の確認のために必ず解いてください。	
第 1 回：「生物とはいったい何だろう」 第 2 回：「細胞から、からだができる」—細胞の構造と機能、組織、器官・器官系— 第 3 回：「細胞から、からだができる」—細胞の分裂と増殖、配偶子形成と受精— 第 4 回：「食べ物からエネルギーをつくる」—エネルギーを作り出す分子 ATP、食べ物からエネルギーをつくるしくみ— 第 5 回：「食べ物からエネルギーをつくる」—脂肪酸からのエネルギー供給— 第 6 回：「食べ物から、からだをつくる」—からだは食べ物からどのようにしてできるか— 第 7 回：「食べ物から、からだをつくる」—生きてゆくための水— 第 8 回：「人体の構造を探る」—人体のつくり— 第 9 回：「人体の構造を探る」—血液の働き— 第 10 回：「からだの調節のしくみ」—神経系による調節、内分泌系による調節— 第 11 回：「からだの調節のしくみ」—免疫とは— 第 12 回：「子どもが親に似る遺伝のなぞ」—メンデルの遺伝の法則— 第 13 回：「子どもが親に似る遺伝のなぞ」—変異— 第 14 回：「遺伝子の本体 DNA」—分子生物学への道程、DNA 二重らせんの発見— 第 15 回：「遺伝子の本体 DNA」—DNA と突然変異、遺伝情報の調節、分子生物学の今後—	
準備学習(予習・復習)	
印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を 2 単位で 90 時間かけて学習することを目安としています。 わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。	
成績評価の方法およびその基準	
次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 試験：100%	
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法	

印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。
教科書
書 名：わかる生物学 知っておきたいヒトのからだの基礎知識 （初版） 著者名：小野廣紀、内藤通孝 発行所：化学同人 ISBN：9784759810424
参考書・参考 Web サイト
なし
関連授業科目
なし
その他
なし
担当教員の実務経験
平成 18 年度から平成 23 年度まで大学薬学部の教員として生命科学分野の研究に従事。遺伝子工学、生化学、X 線結晶構造解析などの実験手法を使用して、主に酵素や転写因子などのタンパク質の構造・機能を解析する研究を行った。これらの実務経験を生かして、医療やバイオテクノロジーなどの最先端技術の話題を正しく理解するために必要な生命科学の基礎的知識の習得につながる教育を実施する。



担当教員： 横山 隆

専 門

建築材料学、建築環境学

出身校等

北海道大学大学院 工学研究科建築工学専攻構造材料専修修士 スウェーデン王国国立シャルマース工科大学 土木工学部建設 材料講座 Licentiatexamen 取得 (Half Doctor Degree)

現 職

最高裁判所専門委員（札幌地方裁判所所属）、司法委員および民事調停委員（札幌地方裁判所および札幌簡易裁判所所属）

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業
授業範囲	教科書の内容すべて・学習用プリントの内容すべて
試験期間	シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2022 科目試験時間割」を参照
試験範囲	教科書の内容すべて・学習用プリントの内容すべて (持ち込み許可物) 一切自由 (試験に関する注意事項) 科目試験は、インターネット試験で実施します。
科目の概要	レイチェルカールソンが「沈黙の春」(1962 年)、ローマクラブが人類の危機レポートとして「成長の限界」(1972 年)を発刊して以来、環境問題が地球全体に影響を及ぼす喫緊の課題として認識されて久しい。現代に於いては、環境問題を克服して環境的(エコロジカル)持続可能性を追求し、さらに経済的持続可能性や社会的持続可能性を併せてバランス良く実現させていく持続可能な発展(Sustainable Development)と言う概念で解決に向けた方向性が示されている。 サステイナブル・デベロップメント(持続可能な発展)は、ブルントラント委員会で「将来の世代が自らのニーズを満たすための能力を損なうことなく、現在世代のニーズを満たすような発展」と定義づけられ(1987)、世代間衡平、南北社会間衡平、生物多様性への配慮等の諸要素を広く包含し、持続可能な発展への課題解決を目指したサステイナビリティー学へと概念的に進化してきている。また、2015 年 9 月、国際連合で開催された「持続可能な発展サミット」では、2030 年までに達成すべき 17 の持続可能な発展目標 SDGs (Sustainable Development Goals) と 169 項目の具体的ターゲット(達成基準)が 193 の加盟国によって全会一致で採択されている。 しかし、現実の諸問題はその背景やメカニズムを含め、非常に多くの要素が複雑に絡み合ったものであり、正確に問題の所在を理解し、課題解決に向けた対策を打つことは容易ではない。細分化され専門分野に深化し、要素還元主義を前提に構築されてきた単体の既存科学・技術領域のみの努力では、実践的解決能力を失ってしまっている。様々な情報や視座、相反する選択肢が混在する中で主観的な判断が求められる状況下にあるが、地球や自然、人間や地域社会の成り立ちにまで根ざした知識や思考力、問題の実態を把握する直感力、そして何よりも過去や他の事例を学びつつ解決を目指す熱い思いが、全人類の直面する諸課題に対する実践的解決能力に結びつく事は間違いない。 そもそもサステイナビリティー学というものが 1 つの学問・科学分野として成立するのか議論が続いているのも事実である。諸説はあるが、これがサステイナビリティー学で、この方法論がサステイナビリティー学の本質であるとは明快に提示されておらず、共通認識にもなっていない。概念的な大きな枠組みとして示されているのみである。 しかし、現象が複雑で個別科学の領域を逸脱している地球規模の課題から地域的な課題まで取り扱う実践的解決能力を今ほど求められている時代は無い。我々ひとりひとりが地球とともに生きるため、実践的課題解決を通じて自分自身のサステイナビリティー学を組み上げることが重要であり、未来世代への責務でもあることを学んでいきたい。 発展的学習として、最近話題になっている「人新生*1の資本論」(著者：斎藤幸平 集英社新書)に示された「気候変動を放置すれば、この社会は野蛮状態に陥るであろう。それを阻止するためには資本主義の制限なき利潤追求を止めなければならないが、資本主義を捨てた文明に繁栄などありうるのか。」と言う危機感と、著者が描きだした「晩期マルクスの思想の中に眠っていたヒントから構想した豊かな未来社会への具体的な道筋」を吟味しながら理解する力も身につけていきたい。 *1「人新生」：人類の経済活動が地球を破壊する環境危機の時代。ここ数十年の地質年代区分として提唱されている。
科目における学修の到達目標	2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災以来、それまでのエネルギーへの見方、政策、そして我々のライフスタイル、人生観そのものまでが問われている。有限の地球に於いて、原子力発電やエネルギー問題はどのように考えられ、最優先に考えられなければならない事は何か？この社会の成長の果てには何が見えてくるのか？将来世代にわたる幸せはどうすれば実現できるのか？と問われている。 教科書「生物多様性とは何か」と「エネルギーを選びなおす」に示された、厳しい現実社会の有様と、その課題解決に実践的に向き合う著者たちの思考を辿ることにより、課題解決手法としてのサステイナビリティー学の概念と思考の方法(方向性と幅)を追体験し、課題と解決策を認識して自分自身の意見を纏める力をつけることを目標とする。
講義の方針・計画	

第1回：サステナビリティとは（学習用プリント集） 成長の限界と持続可能な発展Ⅰ（学習用プリント集） 第2回：成長の限界と持続可能な発展Ⅱ（学習用プリント集） 第3回：成長の限界と持続可能な発展Ⅲ（学習用プリント集） 脱成長社会への転換は可能か（人新生の資本論の吟味） 教科書「生物多様性とは何か」 第4回：はじめに～第1章 生物が支える人の暮らし 1 敗れて分かる命のネットワーク～3 生物多様性の経済学 第5回：第2章 生命史上最大の危機 1 増える「レッドリスト」～4 里山－日本の生物多様性保全の鍵 第6回：第3章 世界のホットスポットを歩く 1 ホットスポットとは～6 日本人が知らない日本 第7回：第4章 保護から再生へ 1 漁民が作った海洋保護区～5 自然は復元できるか 第8回：第5章 利益を分け合う 1 生物多様性条約への道のり～2 ビジネスと生物多様性 第9回：終章 自然との関係を取り戻す 教科書「エネルギーを選びなおす」 第10回：はじめに～第Ⅰ章 エネルギー・文明 1 石油と電気漬けの社会～2 迫り来る崖 第11回：第Ⅱ章 機能不全のエネルギー・システム 1 代替エネルギーの構想～2 ポスト3.11 エネルギー論争 第12回：第Ⅱ章 機能不全のエネルギー・システム 3 循環なきバイオマスの失敗～4 賢いエネルギー利用とは 第13回：第Ⅲ章 自然エネルギーを使いこなす社会へ 1 コミュニティーエネルギー 第14回：第Ⅲ章 自然エネルギーを使いこなす社会へ 2 主役は地域 第15回：第Ⅲ章 自然エネルギーを使いこなす社会へ 3 ダウンサイジングとシェアの思想 おわりに－プラグを抜く時
準備学習（予習・復習）
印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を2単位で90時間かけて学習することを目安としています。 わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。
成績評価の方法およびその基準
次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 試験：100%
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法
印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。
教科書
書 名：生物多様性とは何か（初版） 著者名：井田徹治 発行所：岩波書店 ISBN：9784004312574 書 名：エネルギーを選びなおす（初版） 著者名：小沢祥司 発行所：岩波書店 ISBN：9784004314516
参考書・参考 Web サイト
書 名：人新生の資本論 著者名：斎藤幸平 発行所：集英社「集英社新書」
関連授業科目
なし
その他
なし

担当教員の実務経験

2006 年度から 2010 年度の 5 年間、企業の環境管理責任者として企業活動により生ずる環境負荷を低減させるための実践活動を統括した。ISO9001（品質管理）、ISO14001（環境管理）の取得および維持管理実務を指揮した。2011 年度から 2016 年度の 6 年間は、国立総合大学に全国で初めて設置されたサステイナブルキャンパス推進本部特任准教授・プロジェクトマネージャーとして、2 万 2 千人を超える構成員を擁する大学の教育研究活動により生ずる環境負荷を低減させるための実践活動を統括し、2015 年度には大学運営への貢献が認められ北海道大学総長賞を受賞した。

また、2013 年度、全国の研究教育機関の環境負荷低減活動の連携を図るため、CAS-Net Japan（キャンパスサステイナビリティ・ネットワーク）の立ち上げに参画し、現在も顧問を務めている。

これらの実践活動を通じて得られた知見をもとに、地球規模の課題から地域的な課題まで取り扱う実践的解決能力の必要性やこれを獲得する術を学生に伝え、我々ひとりひとりが、課題解決を通じて自分自身のサステイナビリティ学を組み上げることが重要であり未来世代への責務でもあること、そして自らが自らの力で未来社会を構想することが切に求められていることを教育する。

モチベーションの科学 人のやる気はどこから来るのか？

ナンバリング 2 単位

DCS107



担当教員： 金間 大介

専 門 イノベーション論、マーケティング論、モチベーション・マネジメント 知財マネジメント論
出身校等 横浜国立大学 大学院 修了 博士（工学） バージニア工科大学 大学院 客員研究員
現 職 金沢大学 融合研究域融合科学系 教授

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業
授業範囲	
教科書の内容すべて	
試験期間	
シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2022 科目試験時間割」を参照	
試験範囲	
授業範囲すべて (持ち込み許可物) 一切自由 (試験に関する注意事項) 科目試験は、インターネット試験で実施します。	
科目の概要	
モチベーションは人に行動を起こさせる源泉となるものであり、どの時代においても人が生きる上で欠かせない心理作用の1つとして注目されています。この講義は、モチベーション・マネジメントの入門的な位置づけにあります。 モチベーションの研究は古くて新しいテーマで、アメリカの心理学系の研究者を中心に、多くの研究蓄積と理論化がなされてきました。本講義で指定したテキストは、それらの一部をなるべくわかりやすく紹介することを第1の目標として書き下ろしました。 またこのテキストは、タイトルにもある通り、知識創造性を高めるモチベーションに焦点を当てています。したがって、必然的に学習や仕事へのモチベーションが中心となっています。さらにテキストの終盤では、最近の科学研究成果も随所に登場します。今後、教育や仕事の現場では、どのようなモチベーション・マネジメントが求められるのか、テキストとともに一緒に考えてもらえたらと思います。 創造性の意味する範囲は非常に広いものがあります。一般に創造性というと、優れたアーティストや一部の天才のみが発揮するもの、という認識がありますが、学術的には創造性は万人に備わっているものとして捉えることの方が多くなっています。そこでここでは、日常にちょっとした変化を加えたり、仕事の生産性を高めたりする創造性も議論の対象としながら、学習を進めていきます。	
科目における学修の到達目標	
モチベーションとは、日本語に訳すと「動機」「意欲」「やる気」のことで、人が一定の方向や目標に向かって行動するときに欠かせない要因のことです。言うまでもなく、モチベーションは人間社会にとって大変重要な要因であるため、古くから研究されてきました。一方で、これらの研究成果から得られる知識と、現在の教育や経済社会の現場で行われていることの間には、大きなギャップが存在することが明らかになっています。 この講義では、モチベーションに関する理論を理解することを第一目標とした上で、どのようにしたら研究成果から得られた知識を、仕事や教育、社会生活の場でより良く活用できるかについても、洞察を深めていきます。	
講義の方針・計画	
以下に 15 回分の授業内を示します。ただし、下記はあくまでも目安として、学習の進捗については、個人のペースに合わせて管理して下さい。 第1回：モチベーションとは・創造性とは 第2回：学習のモチベーション 第3回：フロー理論 第4回：内発的モチベーションと外発的モチベーション 第5回：公正理論・期待理論・承認欲求理論 第6回：競争とモチベーション 第7回：ハーズバーグの2 要因理論 第8回：年齢と創造性の関係 第9回：学習性無力感 第10回：達成動機・パワー動機・親和動機 第11回：チャレンジ精神の源 第12回：職務発明報奨制度 第13回：職場におけるインセンティブ・システムのあり方 第14回：まとめ・考察・レポート執筆 (1) 第15回：まとめ・考察・レポート執筆 (2)	

準備学習(予習・復習)
印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を2単位で90時間かけて学習することを目安としています。 わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。
成績評価の方法およびその基準
次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 試験：100%
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法
印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。
教科書
書 名：モチベーションの科学：知識創造性の高め方（初版） 著者名：金間大介 発行所：創成社 ISBN：9784794424525
参考書・参考 Web サイト
なし
関連授業科目
なし
その他
なし
担当教員の実務経験
2006年から2010年にかけて、民間企業の研究開発部門および民間のシンクタンクと合同で、共同調査事業に従事した。当該企業に所属する若手の研究者や技術者を対象に、彼らのモチベーション構造を解明するとともに、即時的にマネジメントに反映させる事業を実施した。また、当該企業の研究開発から事業化までを見据えたイノベーションモデルの構築に務めた。 本講義（および本テキスト）では、これらの知見・経験を盛り込み、社会人となっても活かせる知識の定着を目指す。

メディア・リテラシー入門 真実を読み取る力

ナンバリング 2 単位

DCS109



担当教員： 伊東 正剛

専 門

マス・コミュニケーション論

出身校等

北海道大学法学部

現 職

元北海道新聞編集委員、北広島市国保運営協議会委員、林業

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業
授業範囲	
教科書の内容すべて	
試験期間	
シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2022 科目試験時間割」を参照	
試験範囲	
授業範囲すべて (持ち込み許可物) 一切自由 (試験に関する注意事項) 科目試験は、インターネット試験で実施します。	
科目の概要	メディア・リテラシーとは、メディアの情報を批判的に読み解き、発信する能力をいいます。インターネットの普及に伴い、毎日膨大な情報量が私たちの日々の暮らしに押し寄せています。中でもフェイクニュース（虚偽ニュース）の問題は深刻です。メディアに煽られたり騙されたり、情報の海に溺れたりしないためには主体的に読み取る姿勢が欠かせません。加えてメディアの構造や特性、働きを理解することも重要な柱です。ニュースを読み、情報を発信するうえで心得ておくべき点を学んでもらいます。
科目における学修の到達目標	メディア・リテラシーの能力を身に付けて暮らしや社会に役立てるのが目標です。そのために具体的に三つの目標を設置します。第一に、ネット時代を迎え情報キャッチボールの基本をわきまえないと、情報の被害者になるばかりか加害者になる可能性もあると認識すること。第二に、人には自分の耳に心地よいニュースを聞きたがる傾向が強いことを意識しながら批判的に読み取る習慣を持つこと。第三に、既存メディアやポータルサイト、SNS など様々なメディアの長所と短所、ビジネスモデルを理解して活用することです。
講義の方針・計画	まず「10 代からの情報キャッチボール入門」を読み、「メディアなんて自己流に自由に使いこなせるものだ」と過信していると、誤った情報を真に受け止め発信して、あらぬ事態を招きかねないことを知ってもらいます。著者の下村健一さんが「使えるメディア・リテラシー」として提唱している「4 つのギモン」「4 つのジモン」を学びます。 次に、鳥賀陽弘道さんが書いた「フェイクニュースの見分け方」を読んで、偽のニュースを掴まされないためにクロスチェックが必要なことを学んでもらいます。最後に「はじめてのニュース・リテラシー」をもとに、さまざまなメディアから発信される情報の役割や特性、影響力などを適切に理解する力を育み、情報の出所を確かめる習慣を心がけてもらいます。 第 1 回：誤った受信、誤った発信 第 2 回：情報をしっかり受け取るための 4 つのギモン 第 3 回：情報をしっかり届けるための 4 つのジモン 第 4 回：スピンドクター 第 5 回：インテリジェンスの基本 第 6 回：発信者不明情報 第 7 回：空間軸と時間軸 第 8 回：フェアネスチェックの視点 第 9 回：汚染されているニュースの生態系 第 10 回：陰謀論に陥らないために 第 11 回：フィルターバブルとエコーチェンバー 第 12 回：アウトプットを意識して情報を読む 第 13 回：情報ランチ定食 第 14 回：情報の「次数」を考える 第 15 回：メディアのこれから
準備学習(予習・復習)	
印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を 2 単位で 60 時間かけて学習することを目安としています。 わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。	
成績評価の方法およびその基準	

次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 試験：100%
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法
印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。
教科書
書 名：10代からの情報キャッチボール入門 使えるメディア・リテラシー（初版） 著者名：下村健一 発行所：岩波書店 ISBN：9784000610414 書 名：フェイクニュースの見分け方（初版） 著者名：鳥賀陽弘道 発行所：新潮社 ISBN：9784106107214 書 名：はじめてのニュース・リテラシー 著者名：白戸圭一 発行所：筑摩書房 ISBN：9784480683984
参考書・参考 Web サイト
書 名：世論（上）（下）（文庫版） 著者名：W・リップマン 発行所：岩波書店 書 名：情報を活かす力（新書版） 著者名：池上彰 発行所：PHPビジネス新書 書 名：メディア不信 何が問われているのか（新書版） 著者名：林香里 発行所：岩波新書 書 名：フェイクニュースの生態系 著者名：藤代裕之編著 発行所：青弓社 書 名：ネットメディア覇権戦争 偽ニュースはなぜ生まれたか 著者名：藤代裕之著 発行所：光文社 書 名：僕らが毎日やっている最強の読み方 著者名：池上彰、佐藤優 発行所：東洋経済新報社 書 名：「ポスト真実」時代のネットニュースの読み方 著者名：松林薫 発行所：晶文社 書 名：メディアと政治 改訂版 著者名：蒲島郁夫、竹下俊郎、芹川洋一 発行所：有斐閣
関連授業科目
なし
その他
メディア・リテラシーの実践として、複数の新聞を読み比べてください。自分に興味のあるテーマを選び記事の扱いや内容を比較しながら自分の感想や意見を付箋で貼り付けてみてください。
担当教員の実務経験
1984年から2011年まで北海道新聞社編集局に勤務。旭川、札幌、東京などで地方自治、地域経済、社会保障、首相官邸、経団連、宮内庁、大相撲の取材、執筆に携わる。1996年に1年間、ロシア・ハバロフスクに駐在してソ連崩壊後の極東地域の混乱を報道した。この間、1990年に国際ロータリー財団の奨学金を受けて1年間、スウェーデン・ストックホルム大学国際大学院に留学し、同国の政治と年金制度を研究。2018年12月から非常勤で北海道新聞くらし報道部に、2019年8月からはテレビ北海道（TVh）報道部に籍を置き、社会保障問題などを取材、執筆している。

ヘルスリテラシー入門 医療や健康について正しい情報と知恵を身につけ、病気から体を守りましょう

ナンバリング 2 単位

DCS110



担当教員： 西平 順

専 門

内科学、医療情報学、分子医科学

出身校等

北海道大学 医学部 医学博士（北海道大学）

現 職

北海道情報大学 医療情報学部 教授

授業形態	前期インターネットメディア授業・後期インターネットメディア授業
授業範囲	
第1章～第15章までの講義資料に基づいて、実施する	
試験期間	
シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2022 科目試験時間割」を参照	
試験範囲	
第1章～第15章までのすべての範囲 (持ち込み許可物) 一切自由 (試験に関する注意事項) 科目試験は、インターネット試験で実施します。	
科目の概要	
健康や医療に関する情報が、医療従事者だけでなく広く一般の人々も入手できるようになり、市民も医療の質を評価・判断・選択し、取り入れる力が必要な時代になってきました。健康や医療に関する情報は日々進歩し、様々な本・文献、インターネット等で提供される情報は玉石混交になっています。正しい健康情報を見極め、自分にふさわしい自己決定ができるように、健康に関する情報の特徴、適切な収集方法、生活への取り入れ方を解説します。 「学習者適応型 e-learning システム (POLITE)」を利用して行いますので、使い方に慣れておいてください。	
科目における学修の到達目標	
健康や医療に関する情報を効果的に収集・理解・判断し選択する能力「ヘルスリテラシー」を向上させる。	
講義の方針・計画	
健康維持に必要な知識を学び、自身ならびに地域の人々の健康意識の高い地域社会を構築することを目的に、医療、健康、食の安全などについて多面的に学習する。	
1. 健康における情報と意思決定 2. より良い意思決定とは何か 3. エビデンスに基づいた健康 4. ナラティブによる情報 5. インターネット上の保健医療情報の見方、探し方 6. 医療の質を評価する視点 7. ヘルスリテラシーとヘルスコミュニケーション 8. 患者-医療者関係の変化と協働の医療 9. 専門家とのコミュニケーション実践法 10. 医療安全とコミュニケーション 11. 健康食品との付き合い方 12. ヘルスプロモーションと地域づくり 13. 生活習慣と環境を変える方法 14. 人と人とのつながりと健康 15. 健康を決める力とは	
準備学習(予習・復習)	
参考書(戸ヶ里泰典・中山和弘編「市民のための健康情報学入門」)を講義の前に、目を通して講義に臨むこと	
成績評価の方法およびその基準	
次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 試験：100%	
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法	
E ラーニングによる授業ですので、繰り返し学習し、知識の定着に努めて下さい IM 授業は、練習問題を解答すると、解答に応じたコメントを画面に表示する。	
教科書	
特にありませんが、記載の参考書を参考にしてください	

参考書・参考 Web サイト
戸ヶ里泰典・中山和弘編「市民のための健康情報学入門」NHK 出版 2013 講義の都度、紹介する。
関連授業科目
食と健康情報
その他
なし
担当教員の実務経験
札幌・江別地区で、住民を対象にしたヘルスリテラシーをテーマにした講演をしており、また江別市立病院での医師としての実務経験も活かし、学生への講義内容を充実させている。



担当教員： 綿谷 貴志

専 門

スポーツバイオメカニクス

出身校等

鹿屋体育大学大学院博士後期課程 単位取得退学

現 職

北海道情報大学 情報メディア学部 情報メディア学科 講師

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業
授業範囲	
教科書の内容すべて	
試験期間	
提出期間内にレポートを提出	
試験範囲	
レポートによる評価のため、試験はありません。	
科目の概要	
身体の事について精神，肉体両面から幅広く理論的に理解を深める。	
科目における学修の到達目標	
情報社会の到来や社会環境の変化に伴い，国民の健康問題の様相も大きく変化してきている。現在，日本の平均寿命は男女ともに世界トップクラスであるが，現実に老後の心配がなく，健康に生き生き生活し，人生を全うしているとは考えにくい。様々な社会問題はあるがその根本に健康という基盤がなければ，豊かな人生とするのは困難である。この講義では，肉体，精神，そして社会的に健康に成るための方法を学ぶことを目的とする。	
講義の方針・計画	
第1回：今なぜ健康か—その現状と考え方— 第2回：現代社会の健康と健康状況 第3回：健康とは何か—健康概念の変遷— 第4回：からだの健康 第5回：運動不足と健康障害 第6回：運動の身体的効果 第7回：運動による健康づくり 第8回：心の健康 第9回：ストレスと健康 第10回：運動・スポーツの心理的効果 第11回：運動・スポーツによる心の健康づくり 第12回：健康生活とスポーツ 第13回：これからの生活と運動・スポーツ 第14回：健康づくりのための運動 第15回：スポーツ科学の基礎知識	
準備学習(予習・復習)	
印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を1単位で45時間かけて学習することを目安としています。 わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。	
成績評価の方法およびその基準	
次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 レポート：100%	
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法	
印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。	
教科書	
書 名：健康と運動の科学（新版） 著者名：九州大学健康科学センター編 発行所：大修館書店 ISBN：9784469263893	
参考書・参考 Web サイト	
なし	

関連授業科目
「健康とスポーツ」と合わせて受講すれば2単位となる.
その他
なし
担当教員の実務経験
実務経験なし



担当教員： 綿谷 貴志

専 門

スポーツバイオメカニクス

出身校等

鹿屋体育大学大学院博士後期課程 単位取得退学

現 職

北海道情報大学 情報メディア学部 情報メディア学科 講師

授業形態	夏期面接授業・後期面接授業・冬期面接授業
授業範囲	
なし	
試験期間	
試験実施なし	
試験範囲	
なし	
科目の概要	
スポーツ活動を通して仲間との連携をはかり，協力して技能の習得や課題の達成に向けた取り組みを行う。	
科目における学修の到達目標	
現代社会においては，日常での健康や体力の維持・増進のために多くの時間や費用や努力を要する。また，平均寿命の伸び，ストレス源の増加など，いっそう生涯スポーツの重要性が増大している。本講義では比較的身近であり，中学・高等学校の体育ではあまり深く触れることのなかった種目の実践を通じて，自己の健康の保持増進への関心を高めることを目的としている。 さらに，スポーツ活動を通じて団体生活を送る上での基本的なルールやマナーの大切さを学び，講義に主体的に関わっていくことができるようになることを目指す。講義および実習中に触れたルール，練習方法，プレイ等についてはノートあるいはレポートの提出を通じて各自の理解度を確認する。	
講義の方針・計画	
面接授業（集中講義：3日間 講義内容については，天候や履修人数により内容変更する場合があります） 本学体育館。グラウンド等にて3日間の体育実習を行う。 第1回：オリエンテーション、ストレッチング 第2回：バドミントン・卓球等から実施（コートの設置，用具の扱い方と基礎的な打球技術） 第3回：バドミントン・卓球等から実施（基礎練習） 第4回：バドミントン・卓球等から実施（ルール説明、簡易ゲームシングルス） 第5回：バドミントン・卓球等から実施（シングルス試合） 第6回：バドミントン・卓球等から実施（ルール説明、ダブルス試合を通じて互いのコンビネーションについて検討） 第7回：バドミントン・卓球等から実施（ダブルス試合） 第8回：バスケット・サッカー等から実施（基礎練習：基本的なパスを中心とした練習） 第9回：バスケット・サッカー等から実施（基礎練習：シュート練習及び守備練習） 第10回：バスケット・サッカー等から実施（ルール説明、簡易ゲーム） 第11回：バスケット・サッカー等から実施（簡易ゲーム） 第12回：バスケット・サッカー等から実施（簡易ゲームを元に戦術の検討） 第13回：バスケット・サッカー等から実施（検討した戦術を利用した実践練習） 第14回：バスケット・サッカー等から実施（試合形式による実践） 第15回：バスケット・サッカー等から実施（試合形式による実践）	
準備学習(予習・復習)	
体育実技として実施することから，事前の体調管理に留意し，講義実施に支障が出ないように準備を行うこと。	
成績評価の方法およびその基準	
次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 その他：100%（実習への参加態度、技術の習得度、学習内容の理解度などを総合して評価する）	
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法	
実習時に課題を出す場合は、実習内で回答する。	
教科書	
なし	
参考書・参考 Web サイト	

なし
関連授業科目
なし
その他
なし
担当教員の実務経験
実務経験なし

海外事情（アメリカ編）

ナンバリング 2 単位

DCS113



担当教員： Simon Thollar

専 門

英会話一般、英語の発音、e-learning 一般、 動機づけ 一般、教育法

出身校等

タスマニア大学教育学部卒業 タスマニア大学経営文学士、タスマニア大学特別教育修士 英国国立シェフィールド大学日本研究修士

現 職

北海道情報大学 経営情報学部 教授

授業形態	前期面接授業 8月に3週間程度の英語研修をアメリカ合衆国オレゴン州のポートランド州立大学（以下PSU）で行う。
授業範囲	なし
試験期間	試験実施なし
試験範囲	なし
科目の概要	＊＊現在、アメリカと日本の場合、出国か入国にすると2週間の検疫が必要です。また、米国行くとコロナ感染される可能性があるため、2022年海外事情は中止する可能性があります。その場合、また2023年から復活します。下記は毎年のプログラムです。＊＊ この科目の内容は、アメリカ合衆国オレゴン州ポートランドのPSUにおいて開講される夏期語学研修に参加することである。研修は、主に毎日の英語の講義の受講と隔日のプログラムセミナー（PSUのカリキュラム）への見学・参加より構成されている。また、ポートランド市内観光などが盛り込まれている。 なお、具体的な研修計画は4月中旬から案内し、その後説明会を行い、要項を配布する。 ※正科生Bのみ履修可能。正科生A、科目等履修生の履修不可。
科目における学修の到達目標	英語だけの環境に身を置くことにより、現時点での自己の英語力を認識し、今後の英語学習の方向性を見つけてもらうことと、外国人とのコミュニケーション・海外旅行に慣れてもらうことを目標としています。
講義の方針・計画	8月上旬より PSU で3週間の英語研修を行う。本学学生のためのクラス編成で、PSU の経験豊富な講師が担当し、講義はすべて英語で行われる。講義は、「読む」「書く」「聞く」「話す」の四つの能力を総合的に伸ばすように工夫されている。 講義、諸活動、ホームステイと生きた英語のシャワーを浴びることで、英語で会話することへの心理的負担を軽くし、コミュニケーションの手段として英語が通じる喜びを味わってもらうことを主眼としている。また、研修全体を通して、アメリカ人の日常生活に触れると同時にアメリカの社会と文化への関心・理解を喚起・深化させてもらうことも重要な目的となっている。 ＊＊参加人数が限られていますので、応募者が多い場合には面接（インターネット上）で決めます。上の学年の学生を優先する場合があります。
準備学習（予習・復習）	研修先へ行く前に配付する資料を元に事前学習を行う。
成績評価の方法およびその基準	次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 事前レポート：10% 事後レポート：40%[帰国後に提出となります。] その他：50%[現地語学研修機関での成績とする。] なお、可能であれば事後に行う報告会でのプレゼンテーションがあります。
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法	提出されたレポートについて講評を付与して返却する。
教科書	なし
参考書・参考 Web サイト	なし
関連授業科目	

なし
その他
PSU より正式に研修参加者の成績評価を受ける。レポートもある。レポートの枚数ですが、A4 で 4 枚です。1 枚あたり、4 枚までの写真添付をして、それに対してのレポート文を英語もしくは日本語で書いてください。 (1) 全体的な感想 (2) ホームステイについて (3) 一番楽しかった思い出 (4) アメリカとの文化の違いを感じたことについて これはガイドラインなので、少し自分の好きなようにアレンジしても OK です。英語で書く場合は、翻訳ツールに頼らず英文を作成してください。翻訳ツールの英文はおかしな文章になるので自分で考えた英文のほうがベターです。日本語でも問題ありませんが、英語で書いたほうが点数は高くなります。頑張りましょう！
担当教員の実務経験
Simon Thollar: Native speaker Published 3 text books Taught over 20,000 university students Over 10 presentations at international language conferences Teaching in universities over 30 years Involved with e-Learning for over 25 years Summer overseas programs coordinator Based on the above, the aim of this course is to help you understand and enjoy English.

海外事情（中国編）

ナンバリング 2 単位

DCS114



担当教員： 田中 英夫

専 門
出身校等

貿易論・国際関係論・国際経営論・中国語・中国ビジネス論
大阪市立大学大学院経営学研究科商学専攻後期博士課程修了（商学博士）

現 職

北海道情報大学 教授

授業形態	前期面接授業 8 月に 20 日間程度の中国語研修を中国の南京大学で行う。
授業範囲	
参加学生の中国語能力に配慮しながら、中国語研修のレベルと範囲を決める予定です。授業の内容とレベルは、おそらく初級中国語会話の実践練習になると思われる。	
試験期間	
試験実施なし	
試験範囲	
南京大学が指定した教科書において、参加学生たちが実際に授業で習った範囲になると思われる。	
科目の概要	
テーマ： 南京大学での中国語会話力の養成及び異文化理解の体得 本学と学術交流協定を結んでいる南京大学で、夏季休暇期間に 3 週間程度の中国語研修を実施し、この研修期間ないで、二日間程度の研修旅行を行う予定である。具体的な実施計画案及び参加資格については、4 月上旬頃から案内する。なお、当該科目の単位は、現地に行って研修した学生にしか認定しないので、履修届は、年度始めではなく、研修への参加が正式に決定した後、指定された期間内に提出すること。なお、研修の参加者には、人数制限が設けられているので、場合によっては、一部の学生には当該科目の履修が許可されないこともある。 また、全体的な研修期間及び日程などは、様々な事情により、計画が変更されることもあるので、研修参加学生は、事前の研修実施計画案でしっかり確認して欲しい。 ※正科生 B のみ履修可能。正科生 A、科目等履修生の履修不可。	
科目における学修の到達目標	
この科目は、実際に中国の南京大学での中国語研修に参加し、また二日間程度の研修旅行にも参加することにより、現地での生きた語学学習と海外での実践的な文化・事情の理解を通して、各自の語学力の向上と国際的な視野の養成を図ることを目的としている。	
講義の方針・計画	
8 月中旬頃から、南京大学・海外教育学院で、3 週間程度の中国語研修を午前中のみ行う。中国語のクラス編成は、レベル別に分けて、1 クラス 10 名程度にする。中国語を教える教員は、南京大学・海外教育学院の経験豊富な先生方であり、講義はすべて中国語で行われる。なお、研修の最終日には、試験も実施される。研修期間中は、できるだけ南京や近郊の名所旧跡の観光にも出掛け、言葉以外にも、中国の文化や歴史の幅広い知識を吸収する予定である。 この研修期間の中で、研修参加者全員で研修旅行へ出掛ける。研修旅行は、専用バスで行き、二日間程度になる予定。この旅行を通して、学生は中国の人々とも自由に交流し、各地の偉大な文化遺産もたくさん見学して、各自の知識や教養を更に向上させることができる。とにかく、現地における研修旅行では、広い中国国内を実際に自分の目で見ることにより、現代中国事情や中国人に対する本物の理解や見識をしっかりと深めていくのが、最大の目的である。なお、日本への帰国は、おそらく 9 月上旬になる予定。 ただ、全体的な研修期間や日程などは、様々な事情により、計画が変更になることもあるので、参加学生は、事前の研修実施計画案で、しっかり確認して欲しい。	
準備学習(予習・復習)	
中国語の発音と文法に関する基礎学力だけは、どうしても必要となる。おおよその準備学習時間は、30 時間程度となる。	
成績評価の方法およびその基準	
次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 試験：50% [南京大学にて実施] レポート：30% その他：20% [研修中のすべての活動と態度] 南京大学より、正式に研修参加者の成績評価を受けるが、最終的には科目担当教員が成績を決定する。担当教員は、現地での研修期間中における各学生の授業態度や活動内容をきちんと評価し、帰国後は各学生に研修レポートなどを提出させて、総合的に判定する。	
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法	
研修参加学生が提出したレポートには、担当教員がきちんとコメントを入れて、返却する予定である。	
教科書	
中国語研修で使用するテキストは、南京大学・海外教育学院から配付される。	

参考書・参考 Web サイト
辞書は『プログレッシブ中国語辞典』（小学館）を推薦するが、他の中国語辞典でも、構わない。必ず現地に一冊は、持参すること。もちろん電子辞書でも、大丈夫です。
関連授業科目
初級中国語
その他
実施する場合は、正科生 B の学生にご案内します。
担当教員の実務経験
実務経験なし

海外語学・文化研修（中国大連編）

ナンバリング 1 単位

DCS115



担当教員： 田中 英夫

専 門
出身校等

貿易論・国際関係論・国際経営論・中国語・中国ビジネス論
大阪市立大学大学院経営学研究科商学専攻後期博士課程修了（商学博士）

現 職

北海道情報大学 教授

授業形態	前期面接授業 8月に中国語研修を中国の大連で行う。
授業範囲	
この科目は、実際に中国の大連東軟信息学院での中国語・中国文化研修に参加することにより、現地での生きた中国語学習と中国文化の理解を通して、各自の語学力の向上と国際的な視野の養成を図ることを目標としています。	
試験期間	
試験実施なし	
試験範囲	
「大連東軟信息学院短期留学プログラム」	
科目の概要	
本学と学士課程学生教育に関する共同プロジェクト実施協定を結んでいる大連東軟信息学院で、夏期休暇期間に2週間程度開催される中国語・中国文化研修（「大連東軟信息学院短期留学プログラム」）に参加する授業です。 具体的な実施計画案及び参加資格については、5月頃から案内します。 なお、当該科目の単位は、現地に行って研修した学生にしか認定しないので、履修届は年度始めではなく、研修が決定した後、指定された期間内に提出することになります。 ※正科生Bのみ履修可能。正科生A、科目等履修生の履修不可。	
科目における学修の到達目標	
講義の方針は中国国内を実際に自分の目で見ることにより、現代中国事情や中国人に対する理解や見識を深めていくことです。	
講義の方針・計画	
大連東軟信息学院において、8月中旬から2週間程度、次の授業を行ないます。 1. 午前中は、中国語の授業を受講します。 2. 午後は、①IT企業の見学（産学連携の理念を体験）、②大連市近郊の日露戦争遺跡などの観光（歴史の幅広い知識を吸収）、③餃子作り・京劇観賞・日中学生交流（異文化を実感）などのアクティビティに参加します（若干変更の可能性あり）。 授業は、他大学（他国）から留学している学生や、大連東軟信息学院の在学生と一緒にグループで行なわれます。	
準備学習（予習・復習）	
なし	
成績評価の方法およびその基準	
次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 ■現地研修機関での成績：40% <w:br />■レポート（帰国後研修日記をレポートとして提出）：40% <w:br />■研修中のすべての活動と態度および事後研修：20%	
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法	
帰国後研修日記をレポートとして提出	
教科書	
特になし	
参考書・参考 Web サイト	
特になし	
関連授業科目	
初級中国語	
その他	
特になし	
担当教員の実務経験	
実務経験なし	

英語Ⅰ（初級英語読解） 日常会話に役立つ表現をマスターしよう

ナンバリング 2 単位

DFL101



担当教員： C. McLarty

専 門

言語学、英語学、異文化間のコミュニケーション

出身校等

B. A. -Portland State University (アメリカ、オレゴン州、ポートランド市), M. A. -Monterey Institute of International Studies (アメリカ、カリフォルニア州、モンテレー市)

現 職

北海道情報大学 経営情報学部 教授

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業・後期面接授業
授業範囲	
教科書の内容すべて	
試験期間	
シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2022 科目試験時間割」を参照	
試験範囲	
授業範囲すべて (持ち込み許可物) 一切自由 (試験に関する注意事項) 教科書は必ず持ち込んで下さい。	
科目の概要	
In this course students will be able to improve their English with a variety of reading, writing, speaking and listening activities. By using the exercises in this course students will become able to: *Give their opinions *Make requests *Complain politely *Survive abroad *Speak more freely *Find new friends Since most of the textbook drills are not very difficult, students can master this material if they have a high school level background in English. There will be a review and a test.	
科目における学修の到達目標	
The purpose of this course is to help students gain basic survival skills in English.	
講義の方針・計画	
第1回: Chapter 1 - Introductions: Getting Acquainted 第2回: Chapter 2 - Dinner with Miyu's Host Family 第3回: Chapter 3 - Talking About Classes and Studies 第4回: Chapter 4 - Shopping 第5回: Chapter 5 - Getting Out for Dinner 第6回: Chapter 6 - Miyu's Part-time Job 第7回: Chapter 7 - At The Blazer Game 第8回: Review Chapter A - Review of Chapters 1-7 第9回: Chapter 8 - Poking Around at Saturday Market 第10回: Chapter 9 - A Change of Pace 第11回: Chapter 10 - The Portland-Sapporo Sister City Party 第12回: Chapter 11 - The Final Examination 第13回: Chapter 12 - Communication 第14回: Chapter 13 - Miyu's Farewell Speech at Portland International Airport 第15回: Review Chapter B - Review of Chapters 8-13	
準備学習(予習・復習)	
印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を2単位で90時間かけて学習することを目安としています。 わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。 面接授業において、以下の準備学習を行う。 (予習) 聴講前に、教科書の該当箇所を目を通してください。 (復習) 聴講後に、教科書の該当箇所を読んで、確認してください。	
成績評価の方法およびその基準	
次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 試験: 100%	

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法
E-mail
教科書
書 名 : Hang In There! Elementary Conversation in English (初版) 著者名 : Charles McLarty 発行所 : 丸善プラネット ISBN : 9784863451223
参考書・参考 Web サイト
重要米語イディオム 1200 by Chris Cataldo and 藤井基精 日本英語教育協会
関連授業科目
英語 2, 3, 4, 5
その他
Good luck with your English
担当教員の実務経験
The instructor, who possesses over 30 years of experience teaching English in the U.S. and Japan, will provide students with sufficient opportunities to improve their English listening, speaking, reading and writing skills during the course of this study program.

英語 II（初級英会話） 中高で習った英語を英会話で使いましょう！

ナンバリング 2 単位

DFL102



担当教員： Simon Thollar

専 門

英会話一般、英語の発音、e-learning 一般、動機づけ 一般、教育法

出身校等

タスマニア大学教育学部卒業 タスマニア大学経営文学士、タスマニア大学特別教育修士 英国国立シェフィールド大学日本研究修士

現 職

北海道情報大学 経営情報学部 教授

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業・前期 IP メディア授業・前期インターネットメディア授業・後期インターネットメディア授業
授業範囲	教科書の内容すべて
試験期間	シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2022 科目試験時間割」を参照
試験範囲	授業範囲すべて (持ち込み許可物) インターネット試験は、一切自由。IP メディア授業は辞書（電子辞書も可）のみ (試験に関する注意事項) 印刷授業と IM 授業の科目試験は、インターネット試験で実施します。
科目の概要	この授業は会話の基本です。文法に縛られた英語学習から開放することを意図した講義で、さまざまな場面を想定した表現法を紹介します。e-Learning の場合は、よく chapter movie を見て下さい。わからないことがあれば、すぐに質問する姿勢が大切です。 IP メディア授業：毎週、英語と日本語で、ノートにテキストのメインポイントを書かなければなりません。
科目における学修の到達目標	この授業は基本の会話を習得することを目標とします。学生は基本的な文法をすでに習得していると思われるので、文法よりも会話(communication)に重点をおいています。
講義の方針・計画	全ての講義でテキストを使います。テキストは chapter1 から chapter14 まであります。会話を基本とし、話すことに重点をおくので、繰り返し練習すること。 ＜学習方法＞ (1) chapter dialogue (English Story & Japanese Story)を読む。 (2) key sentence の説明を理解する。 (3) student exercises を解く。 (4) 次の chapter にすすむ。 (注) 印刷授業の場合はレポート提出の前に、テキストを読み終えておくこと。またレポートの回答はテキストを参考にすること。 (注) e-Learning の場合は、chapter の問題/選択問題を必ず解くこと。 (注) スクーリングの場合は、講義の流れに従って、積極的に発言すること。 ＜ながれ＞ 第 1 回： Chapter 1 "How you doing?" 挨拶 第 2 回： Chapter 2 "This is Paul." 人と会う 第 3 回： Chapter 3 "You doing anything?" 予定 第 4 回： Chapter 4 "Let's go out!" 招待 第 5 回： Chapter 5 "What can I get you?" 外食 第 6 回： Chapter 6 "Got a tissue?" 持っている 第 7 回： Chapter 7 "Crazy about Eric." 好み 第 8 回： Chapter 8 "Is John there?" 電話 第 9 回： Chapter 9 "What's wrong with me?" 病気 第 10 回： Chapter 10 "Never heard of it." 経験 第 11 回： Chapter 11 "In 2 weeks?" 過去未来 第 12 回： Chapter 12 "I've been waiting." どのくらい 第 13 回： Chapter 13 "Gotta go!" 提案 第 14 回： Chapter 14 "Take care!" 別れ 第 15 回： まとめ もう一度 key sentence を読むこと。(IP メディアの場合、模擬試験)
準備学習(予習・復習)	

印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を2単位で90時間かけて学習することを目安としています。 わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。 印刷授業以外の授業形態において、以下の準備学習を行う。 （予習）聴講前に、教科書の該当箇所を目を通してください。 （復習）聴講後に、教科書の該当箇所を読んで、確認してください。
成績評価の方法およびその基準
次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 印刷授業・IM授業 試験：100% <w:br />IPメディア授業 試験：55%、ノート：15%、宿題：30% （宿題は学生がネット上で直接に提出します。）
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法
印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。
教科書
書 名：Simon Says -Basic English Conversation for Young Adults- （第2版） 著者名：Simon Thollar 発行所：丸善プラネット ISBN：9784863454187
参考書・参考 Web サイト
なし
関連授業科目
なし
その他
学習用プリントはありません。 印刷授業のレポート課題は、下記「レポート課題」をダウンロードして表示される案内文書を確認してください。
担当教員の実務経験
Simon Thollar: Native speaker Published 3 text books Taught over 20,000 university students Over 10 presentations at international language conferences Teaching in universities over 30 years Involved with e-Learning and effective Instructional design for over 25 years Based on the above, the aim of this course is to help you understand and enjoy English.

英語 III（中級英語読解） 知られざるアメリカの今

ナンバリング 2 単位

DFL103



担当教員： 竹内 典彦

専 門

英語教育、グローバル人材育成教育

出身校等

筑波大学大学院

現 職

北海道情報大学 経営情報学部 教授

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業・前期面接授業・後期面接授業
授業範囲	
教科書の（p25～p26、p31～p32、p37～p38、p43～p44、p49～P50、p61～p62、p73～p74、p85～p86）まで	
試験期間	
シラバス検索画面トップページ（ https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/ ）下部の「2022 科目試験時間割」を参照	
試験範囲	
授業範囲の内容すべて、学習用プリントの内容すべて （持ち込み許可物）一切自由 試験に関する注意事項：自分の意見を述べなさいという問（日本語もしくは英語）は量を多くしっかりといて下さい。 レポートが合格していても、油断をしないで試験に臨んでください。1 年間に数名の学生が殆ど何も書かない答案の人がいますが、それはレポートが合格であっても、不合格になります。テストでは真剣に準備をして取り組んで下さい。	
科目の概要	
英語Ⅲ（中級英語読解）では、アメリカが産んだ魅力的な人物やビジネス、そして文化や地域にスポットを当てて、学んでいきましょう。世界的に有名な事柄、人物を英語で学んでいきます。 グローバル感覚は全てがよしというわけではありませんが、世界というものを身近に感じられる全方向感覚を持てるように、全力で Let's start!!	
科目における学修の到達目標	
英語の読解力を養成します。英文の構造、文法や構文、単語や熟語等の英文を構成する要素を理解できるようになること。テキストの内容を理解したうえで、日本語に訳したり、英問英答（英語による質問に英語で記述回答）ができるようになること。日本語による質問にも論理的に回答できること。	
講義の方針・計画	
英和辞典・和英辞典を使いこなし英語大好き（ちょっとだけでも）人間になりましょう。 指定ユニット（章）。余力のある人は他のユニットも目を通して下さい。学生の関心、興味ある章を選択してありますので、ページを間違えないように注意してください。	
第 1 回：p25～p26 Steve Job's Legacy（スティーブ・ジョブズ）本文を全て日本語に訳し、内容を理解する。 第 2 回：学習プリントを参考にしつつ、題材の深い理解に努める。 第 3 回：p31～p32 Disney and Marvel（ディズニーとマーベル）本文を全て日本語に訳し、内容を理解する。 第 4 回：学習プリントを参考にしつつ、題材の深い理解に努める。 第 5 回：p37～p38 The Appeal of Aloha（アロハの魅力）本文を全て日本語に訳し、内容を理解する。 第 6 回：学習プリントを参考にしつつ、題材の深い理解に努める。 第 7 回：p43～p44 New York City（ニューヨーク）本文を全て日本語に訳し、内容を理解する。 第 8 回：学習プリントを参考にしつつ、題材の深い理解に努める。 第 9 回：p49～P50 Los Angeles（ロサンゼルス）本文を和訳し、内容を理解する。 第 10 回：学習プリントを参考にしつつ、題材の深い理解に努める。 第 11 回：p61～p62 Starbucks（スターバックス）本文を全て日本語に訳し、内容を理解する。 第 12 回：学習プリントを参考にしつつ、題材の深い理解に努める。 第 13 回：p73～p74 Amazon.com（アマゾン）本文を全て日本語に訳し、内容を理解する。 第 14 回：学習プリントを参考にしつつ、題材の深い理解に努める。 第 15 回：p85～p86 Facebook（フェイスブック）和訳と学習プリントで深く理解する。	
準備学習（予習・復習）	
印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を 2 単位で 90 時間かけて学習することを目安としています。 わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。 印刷授業以外の授業形態において、以下の準備学習を行う。	

(予習) 聴講前に、教科書の該当箇所に目を通してください。 (復習) 聴講後に、教科書の該当箇所を読んで、確認してください。
成績評価の方法およびその基準
次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 試験：100%
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法
印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。
教科書
書 名：Iconic America (知られざるアメリカの今) (初版) 著者名：Jeffrey Miller、萱 忠義 発行所：成美堂 2013 年 1 月 20 日初版 ISBN：9784791912858
参考書・参考 Web サイト
なし
関連授業科目
なし
その他
特記事項：常に新聞、テレビ、本、映画などで世界的な新しい知識、事実を貴方の中で増やして行って下さい。 “TO SEE IS TO BELIEVE.” (百聞は一見に如かず)
担当教員の実務経験
実務経験なし

英語 IV（中級英会話） 英語でよく出る言葉の色々な使い方を覚えましょう！

ナンバリング 2 単位

DFL104



担当教員： Simon Thollar

専 門

英会話一般、英語の発音、e-learning 一般、動機づけ 一般、教育法

出身校等

タスマニア大学教育学部卒業 タスマニア大学経営文学士、タスマニア大学特別教育修士 英国国立シェフィールド大学日本研究修士

現 職

北海道情報大学 経営情報学部 教授

授業形態	前期インターネットメディア授業・後期インターネットメディア授業・後期 IP メディア授業
授業範囲	
教科書の内容すべて	
試験期間	
シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2022 科目試験時間割」を参照	
試験範囲	
授業範囲すべて (持ち込み許可物) インターネット試験は、一切自由。IP メディア授業は辞書（電子辞書も可）のみ (試験に関する注意事項) IM 授業は、インターネット試験で実施します。	
科目の概要	この授業は会話が基本です。文型等の表現法は、さまざまな場面を想定したモデルを通して紹介します。この講義で紹介する英語は、現在使われている熟語やスラングも含み、実際の英会話を反映するものを選んでいきます。e-Learning の場合は、よく chapter movie を見て下さい。スクーリングの場合は、授業に取り組む姿勢が問われますので、気合いを入れてスクーリングに参加するようにして下さい。 IP メディア授業：毎週、英語と日本語で、ノートにテキストのメインポイントを書かなければなりません。
科目における学修の到達目標	この授業は会話力をさらに向上させるコースです。すでに習得している会話力や聞き取りなどをもっと発展させることを重点としています。学生は英語Ⅱで基本的な会話をすでに習得していると思われるので、会話力をさらに上達させることが目標です。
講義の方針・計画	全ての講義でテキストを使います。テキストは chapter1 から chapter14 まであります。会話を基本とし、話すことに重点をおくので、繰り返し練習すること。 ＜学習方法＞ (1) chapter movie (on-line か CD) を見る。 (2) key sentence の説明を理解する。 (3) student exercises を解く。 (4) 次の chapter にすすむ。 (注) e-Learning の場合は、chapter の問題/選択問題を必ず解くこと。 (注) スクーリングの場合は、講義の流れに従って、積極的に発言すること。 ＜ながれ＞ 第1回： Use of the word " how" 第2回： Use of the word " what" 第3回： Use of the word " take" 第4回： Use of the word " have" 第5回： Use of the words " there is/are, many/much" 第6回： Use of the words 第7回： Use of the word " get" 第8回： Use of the word " give" 第9回： Use of the words " say/speak/tell" 第10回： Use of the words " see/watch/look" 第11回： Use of " almost/nearly/just about" 第12回： Use of numbers, quantities & qualities 第13回： Use of tag questions 第14回： Use of the words " come/go" 第15回： Revision of previous chapters
準備学習(予習・復習)	
以下の準備学習を行う。 (予習) 聴講前に、教科書の該当箇所に目を通してください。	

(復習) 聴講後に、教科書の該当箇所を読んで、確認してください。
成績評価の方法およびその基準
次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 IM 授業 試験：100% <w:br />IP メディア授業 試験：55%、ノート：15%、宿題：30% (宿題は学生がネット上で直接に提出します。)
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法
IM 授業は、練習問題を解答すると、解答に応じたコメントを画面に表示する。
教科書
書 名：HOBBYMAN (第2版) 著者名：Simon Thollar 発行所：丸善プラネット ISBN：9784901689168
参考書・参考 Web サイト
なし
関連授業科目
「英語Ⅱ (初級英会話) 」を履修済であることが望ましい。
その他
なし
担当教員の実務経験
Simon Thollar: Native speaker Published 3 text books Taught over 20,000 university students Over 10 presentations at international language conferences Teaching in universities over 30 years Involved with e-Learning for over 25 years Summer overseas programs coordinator Based on the above, the aim of this course is to help you understand and enjoy English.

英語Ⅴ（実用英語） イデオムで英語のコミュニケーションを楽しもう

ナンバリング 2 単位

DFL105



担当教員： C. McLarty

専 門

言語学、英語学、異文化間のコミュニケーション

出身校等

B. A. -Portland State University (アメリカ、オレゴン州、ポートランド市), M. A. -Monterey Institute of International Studies (アメリカ、カリフォルニア州、モンテレー市)

現 職

北海道情報大学 経営情報学部 教授

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業
授業範囲	
教科書の内容すべて	
試験期間	
シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2022 科目試験時間割」を参照	
試験範囲	
授業範囲すべて (持ち込み許可物) 一切自由 (試験に関する注意事項) 教科書は必ず持ち込んで下さい。	
科目の概要	
In this course students will learn a variety of idiomatic phrases, slang and informal expressions now current in American English. With the new expressions students will be able to confidently handle, many situations in daily life in English speaking countries such as: *Expressing surprise or disbelief *Showing uncertainty or hesitation *Giving advice or encouragement *Discussing past or future events The text's setting is Portland State University in Portland, Oregon, the American sister city of Sapporo, where Yoshie Karasawa is an exchange student. Through Yoshie's experiences and adventures students will see how the new expressions are used in American life. The text will give students a chance to use the expressions actively and to get reading writing, listening and speaking practice. There will be a review and a test.	
科目における学修の到達目標	
The purpose of this course is to help students improve their intermediate level communication skills in English.	
講義の方針・計画	
第1回: Chapter 1 - Studying Abroad: To Go or Not To Go 第2回: Chapter 2 - Welcome Party for New Students 第3回: Chapter 3 - Talking About Teachers and Classes 第4回: Chapter 4 - Hitting The Town 第5回: Chapter 5 - The Business Presentation: Yoshie Makes It Happen 第6回: Chapter 6 - Voodoo Doughnut: The Taste of Portland 第7回: Chapter 7 - The Major League: Seattle Mariners vs Portland Pythons 第8回: Review Chapter A- Review of Chapters 1-7 第9回: Chapter 8 - Yoshie's Part-time Job at The P.S.U. Bookstore 第10回: Chapter 9 - Shopping Around at The Lloyd Center 第11回: Chapter 10 - Tests, Tests, Tests: Yoshie's Paper Chase 第12回: Chapter 11 - At The Oregon Coast: Getting Away from The Rat Race 第13回: Chapter 12 - The Portland-Sapporo Sister City Speech Contest 第14回: Chapter 13 - At Portland international Airport: Yoshie's Big Surprise 第15回: Review Chapter B - Review of Chapters 8-13	
準備学習(予習・復習)	
印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を2単位で90時間かけて学習することを目安としています。 わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。	
成績評価の方法およびその基準	
次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 試験: 100%	

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法
E-mail 印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。
教科書
書 名 : Make It Happen-Intermediate Conversation in English (初版) 著者名 : Charles McLarty 発行所 : 丸善プラネット ISBN : 9784863454484
参考書・参考 Web サイト
重要米語イディオム 1200 by Chris Cataldo and 藤井基精 日本英語教育協会
関連授業科目
英語 1, 2, 3, 4
その他
Good luck with English
担当教員の実務経験
The instructor, who possesses over 30 years of experience teaching English in the U.S. and Japan, will provide students ample opportunities to improve their use of idiomatic English based on the four skills of listening, speaking, reading and writing.



担当教員： 田中 英夫

専 門

貿易論・国際関係論・国際経営論・中国語・中国ビジネス論

出身校等

大阪市立大学大学院経営学研究科商学専攻後期博士課程修了（商学博士）

現 職

北海道情報大学 教授

授業形態	前期印刷授業・後期印刷授業・前期 IP メディア授業・前期インターネットメディア授業・後期インターネットメディア授業
授業範囲	I 「発音編」 教科書「新版」『会話で学ぶ初級中国語（CD 付）』（丸善プラネット発行、田中英夫著） 1 頁～18 頁の内容 教科書『誰でも簡単に話せる中国語日常会話（音声再生アプリ付）』（朝日出版社発行、田中英夫著） 14 頁～33 頁の内容 II 「文法編・読解編」 教科書「新版」『会話で学ぶ初級中国語（CD 付）』（丸善プラネット発行、田中英夫著） 19 頁～70 頁の内容 III 「会話編・中国語の豆知識編」 教科書『誰でも簡単に話せる中国語日常会話（音声再生アプリ付）』（朝日出版社発行、田中英夫著） 132 頁～179 頁の内容
試験期間	シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2022 科目試験時間割」を参照
試験範囲	授業範囲 の内容すべて （持ち込み許可物）一切自由 （試験に関する注意事項）科目試験は、インターネット試験で実施します。
科目の概要	初級中国語の履修を希望する皆さんは、おそらくはじめて中国語を学ぶ人たちが多数でしょう。同じく漢字文化圏に属する日本人にとって、中国語学習のキープポイントとなるのは、何よりも「発音」と「文法」の両者です。このうち、「文法」について見れば、孤独語である中国語には語形変化がないため、欧米語のような複雑さは少なく、比較的に学びやすい言語だといえます。 しかし、問題なのは「発音」です。現代中国語の漢字音は日本語での漢字音との違いが大きいです。さらに、アクセントによる意味の区別が厳格です。この点が初心者泣かせだともいえるでしょう。 対面学習の機会に乏しい通信教育課程において、発音発声の学習には相当な困難が伴うことをあらかじめ承知のうえ、各自の努力によってこの壁を突破しようとする受講者が期待されています。
科目における学修の到達目標	本講義では、初級中国語の発音や基本的な文法事項、および基礎的な会話能力の養成を図ります。 教育目的は「聴く・話す・読む・書く」という四つの基本的技能を養うことにあります。この目的を達成するために、各自の自主的かつ徹底した反復練習が望まれます。
講義の方針・計画	I 「発音編」の方針 初級中国語の母音、子音、四声、軽声、音節の仕組みなどを簡潔に解説し、正確な発音を習得します。 II 「文法編・読解編」の方針 課題学習を通じて、初級中国語の文法と読解力を高めます。 III 「会話編・中国語の豆知識編」の方針 課題学習を通じて、初級中国語の会話力を高め、中国語の豆知識を身に付けます。 具体的な講義の計画は以下の通りです。 第 1 回：発音編：中国と中国語の基礎知識、単母音とは何か？ 第 2 回：発音編：複母音と n と ng を伴う母音とは何か？ 第 3 回：発音編：子音とは何か？ 第 4 回：文法編・読解編：第 1 課の単語、文法、本文 第 5 回：文法編・読解編：第 2 課の単語、文法、本文 第 6 回：文法編・読解編：第 3 課の単語、文法、本文 第 7 回：文法編・読解編：第 4 課の単語、文法、本文 第 8 回：文法編・読解編：第 5 課の単語、文法、本文 第 9 回：文法編・読解編：第 6 課の単語、文法、本文

第10回：文法編・読解編：第7課の単語、文法、本文 第11回：文法編・読解編：第8課の単語、文法、本文 第12回：文法編・読解編：第9課の単語、文法、本文 第13回：文法編・読解編：第10課の単語、文法、本文 第14回：発音編：発音編の総合復習（「音節の仕組み」と「音節の綴りの規則」） 第15回：会話編・中国語の豆知識編：総合復習、会話編（第十三課～第十八課） 注：使用教科書は以下の通りです。 ※講義計画第1回～第13回 〔新版〕『会話で学ぶ初級中国語』（丸善プラネット発行、田中英夫著） ※講義計画第14回、第15回 『誰でも簡単に話せる中国語日常会話』（朝日出版社発行、田中英夫著） I M授業は、1単位～13単位は、上記授業計画の第1回から第13回にあたります。なお、第14回と第15回の授業計画の内容については、『誰でも簡単に話せる中国語日常会話』の以下の頁を参照してください。 第14回：14頁～33頁 第15回：132頁～179頁
準備学習(予習・復習)
印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を2単位で90時間かけて学習することを目安としています。 わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。 印刷授業以外の授業形態において、以下の準備学習を行う。 初級中国語をマスターするには、前回内容の復習と次回内容の予習が必要なので、受講者全員はかならず予習・復習をして下さい。
成績評価の方法およびその基準
次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 次項の項目および割合で標準評価基準に基づき総合評価する。 試験：100%
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法
レポートを課した場合は添削してから返却します。 印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。 IM 授業は、練習問題を解答すると、解答に応じたコメントを画面に表示する。
教科書
指定教科書（その1） 書 名：『誰でも簡単に話せる中国語日常会話』（音声再生アプリ付） 著者名：田中英夫 発行所：朝日出版社 ISBN：9784255453491 指定教科書（その2） 書 名：「新版」『会話で学ぶ初級中国語』（CD付） 著者名：田中英夫 発行所：丸善プラネット ISBN：9784863450066
参考書・参考 Web サイト
特になし
関連授業科目
中国語と中国文化や歴史などに興味を持ったら、「海外語学・文化研修（中国大連編）」を履修して下さい。 （正科生 B のみ履修可能）
その他
なし
担当教員の実務経験
実務経験なし